



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 能美防災株式会社

コード番号 6744 URL <http://www.nohmi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋爪 毅

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当

(氏名) 曾田 義則

TEL 03-3265-0214

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	15,100	0.7	△76	—	△1	—	△12	—
23年3月期第1四半期	15,001	△8.0	△630	—	△536	—	△306	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 77百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △383百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.21	—
23年3月期第1四半期	△5.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	79,202	52,997	65.5
23年3月期	80,390	53,398	65.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 51,915百万円 23年3月期 52,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,000	1.6	200	—	300	—	100	—	1.66
通期	81,500	1.9	3,000	1.9	3,300	0.1	1,900	1.8	31.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	60,832,771 株	23年3月期	60,832,771 株
24年3月期1Q	496,146 株	23年3月期	493,026 株
24年3月期1Q	60,338,189 株	23年3月期1Q	60,353,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による生産や輸出への影響や電力供給問題などにより、景気の先行きは極めて不透明な状況となりました。

当防災業界におきましても、震災の影響から民間設備投資の弱い動きが続いたことなどを受けて、さらに厳しい経営環境となっております。

このような環境のなか、当社グループは積極的な営業活動に努めました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は15,100百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

売上高の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備は5,253百万円（前年同期比11.3%減）、消火設備は4,726百万円（前年同期比12.7%増）、保守点検等は4,161百万円（前年同期比8.1%増）、その他は960百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

利益につきましては、厳しい環境ながらも業務の効率的運用をはかることで前年同期に比べ改善し、営業損失は76百万円、経常損失は1百万円、四半期純損失は12百万円となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、未成工事支出金1,762百万円の増加、現金及び預金1,197百万円の増加等があったものの、受取手形及び売掛金5,072百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,187百万円減少し、79,202百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は753百万円の減少、固定負債は32百万円の減少となり、負債合計は前連結会計年度末に比べ785百万円減少し、26,205百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ401百万円減少し、52,997百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想について、平成23年5月10日に公表した予想数値に現時点での変更はありません。

なお、当社グループの売上高は建設業界の影響を受ける部分が多いため、下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,297	20,494
受取手形及び売掛金	24,888	19,815
有価証券	2,000	2,000
商品及び製品	2,550	3,293
仕掛品	1,037	965
原材料及び貯蔵品	3,496	3,671
未成工事支出金	3,430	5,192
その他	2,104	2,425
貸倒引当金	△259	△243
流動資産合計	58,545	57,616
固定資産		
有形固定資産	12,377	12,265
無形固定資産		
のれん	64	60
その他	1,411	1,318
無形固定資産合計	1,476	1,379
投資その他の資産		
投資有価証券	2,969	3,001
その他	5,188	5,100
貸倒引当金	△167	△159
投資その他の資産合計	7,990	7,941
固定資産合計	21,844	21,586
資産合計	80,390	79,202
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,763	9,052
短期借入金	33	34
未払法人税等	1,089	158
賞与引当金	2,357	3,061
完成工事補償引当金	38	38
工事損失引当金	379	445
その他	7,978	7,097
流動負債合計	20,641	19,888
固定負債		
退職給付引当金	5,328	5,301
役員退職慰労引当金	598	592
資産除去債務	15	15
負ののれん	6	5
その他	402	403
固定負債合計	6,350	6,317
負債合計	26,991	26,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,745	12,745
利益剰余金	26,510	26,044
自己株式	△246	△247
株主資本合計	52,312	51,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	129
為替換算調整勘定	△98	△58
その他の包括利益累計額合計	11	70
少数株主持分	1,074	1,081
純資産合計	53,398	52,997
負債純資産合計	80,390	79,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	15,001	15,100
売上原価	10,904	10,501
売上総利益	4,096	4,599
販売費及び一般管理費	4,727	4,676
営業損失(△)	△630	△76
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	15	19
保険返戻金	15	—
負ののれん償却額	2	1
持分法による投資利益	7	23
その他	99	72
営業外収益合計	146	123
営業外費用		
支払利息	1	1
貸貸費用	14	14
売上割引	16	15
為替差損	9	12
その他	11	4
営業外費用合計	52	47
経常損失(△)	△536	△1
特別利益		
前期損益修正益	32	—
負ののれん発生益	—	16
貸倒引当金戻入額	33	—
特別利益合計	65	16
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
固定資産処分損	10	3
特別損失合計	10	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△481	8
法人税等	△199	18
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△281	△9
少数株主利益	24	3
四半期純損失(△)	△306	△12

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△281	△9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	19
為替換算調整勘定	25	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△101	86
四半期包括利益	△383	77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△418	46
少数株主に係る四半期包括利益	35	30

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,923	4,191	3,851	13,966	1,034	15,001	—	15,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	14	—	32	45	77	△77	—
計	5,941	4,206	3,851	13,998	1,079	15,078	△77	15,001
セグメント利益	4	133	303	442	65	507	△1,138	△630

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場設備、防犯設備等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,138百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	火災報知 設備	消火設備	保守点検等	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,253	4,726	4,161	14,140	960	15,100	—	15,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	13	—	23	47	71	△71	—
計	5,263	4,740	4,161	14,164	1,007	15,172	△71	15,100
セグメント利益	94	571	396	1,062	19	1,082	△1,159	△76

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駐車場車路管制システム、防犯設備等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,159百万円は全社費用であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、火災報知設備で16百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは、当社連結子会社である八洲防災設備㈱の株式の一部を取得したことにより発生したものであります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。